

という表現はいささか気になる。子どもが能動的に追究していくというのでなければなるまい。

ところで、授業は教育課程にもとづく指導であるから、ゆとりのある授業を展開し充実した学習を成就させるためには、教育課程の編成に当ってこのような授業になるよう、ゆとりのある教育課程であるように十分配慮しなければならぬ。事前調査や事後調査、練習などがよく行いうるよう、フィードバックも必要に応じてよく実施できるように配慮された教育課程でなければなるまい。従前のものが果してどれほど、こうした問題に対処したものであったか、教育の現場では検討ずみのことと思うがどうかであろうか。とりわけ、学習における練習の問題が教育課程の編成の上で配慮される必要がある。あまりに軽く見られてはほしくない。

かくして、学校生活の全体にわたって、ゆとりが機能するように配慮されたなかで、ひとりひとりの子どもは、のびのびと、いきいきと、能動的に活動し、互いにささえ合い励まし合う。そういう在り方を基盤として、自分で考え判断できる力がしだいに育ち、学力もたしかになり、身も心もその子どもなりに成長しつつあるようになる。そこからそれぞれの子どもは、自信をもてるようになるだろうし、自信がつけば、それだけゆとりのある生活ができるようになる。つまり、ゆとりのある生活によって、ゆとりのある生活を創り出すことができるという望ましい循環として上昇充実の生活が実現するであろう。

5. 教育における「ゆとりと充実」を成就させるために

(1) 世の大人たちが、教育についてゆとりのある見方をし、対処しなければならぬ。人間性豊かなわが子に育ててくれることを願うのであれば、子どもの特質も適性もお構いなく、やみくもに、いわゆる受験科目による狭い教育に駆り立てるようなことはできないはずである。さらに学校教育によってのみ人間の教育が成り立つとも考えることはできない。大人たちの立ち居振る舞いが大きい教育力をもつことをあらためて深く思い自己教育にいそむべきであろう。いわゆる私人の教育能力を回復しなければならぬのである。

大人たちのこのようなあり方が遍満し、好ましいエトスを醸成することなしに、学校教育においてのみ、ゆとりと充実を念願しても実現ははなはだ困難であるだろうと思う。

(2) にもかかわらず、教師は教育におけるゆとりと充実の問題解決に挺身するものでなければならぬ。この問

題の深い洞察とそれにもとづく方法上の創意工夫が問われている。このことに実践を以て答えなければならないのである。このことを通して、好ましいエトスの醸成を呼びかけなければならない。冒頭引用した高橋氏の指摘するような今回の教育課程改善の効果が裏目に出るか出ないかは、教師の見識にかかわるということをしてたしかに身に示めて事に当らなければならない。

ところで、子どもがゆとりのあるしかも充実した学校生活を送れるようにするには、教師その人の学校生活がゆとりのあるしかも充実したものでなければならぬ。教師みずからがしかく努力することは当然ながら、とりわけ教育行政の姿勢が問われることになろう。地域社会、父兄のあり方は、(1)に述べたことにおいて言及したこととする。

(3) さきに、「心のゆとり」が根本であると述べたのであるが、われわれは、「心のゆとり」を^まち育てていかなければならぬ。そのためには、つぎのように努めるのでなければなるまい。紙幅の都合上、メモ風に記すにとどめる。

- ① 意味への意志に生きようと心がけ、つとめること。
- ② 感情を洗練する努力をすること。
- ③ ゆとりは元来、余地、余裕、余白、^ま間等における美意識の覚醒とそれにもとづく活動の展開およびそのことによる活動主体の存在の高まりをもたらしものと押えることができるという立場において、美意識を育てることにつとめること。
- ④ 自己統御ができるように自己訓練にはげむこと。
- ⑤ 他人の心のゆとりを大事にすること。
- ⑥ つねに良心の声に聴従するように努めること。
- ⑦ 急迫した事態においても、全体を観ることができる自分であるようにつとめること。

このように自らに働きかけながら、子どもたちにも、このようにあるよう働きかけていくべきであると思うのである。

[注]

1. 郡山女子大学紀要第10集の拙論を参照されたい。
2. 吉本二郎、ゆとりのある、しかも充実した教育課程をめざして、初等教育資料 No. 344
3. 重松鷹泰、教育における「ゆとり」とは何か。児童心理 No. 362 金子書房。
4. 同上
5. フランクル著作集2.みず書房を参照されたい。

①は生きる意味を正しくおさえていけば、心にゆとりを生むことができるという考え方に立って述べているわけである。